

児童労働反対世界デーキャンペーン 2010



6月12日は国際労働機関(ILO)が定めた「児童労働反対世界デー」です。

児童労働ネットワーク(以下CL-Net)は、この日をまたぐ5月から6月の期間に「児童労働反対世界デーキャンペーン」を実施し、キャンペーンを通じて児童労働のことを知る人、行動する人を増やし、児童労働のない世界を目指しています。5年目となる2010年は4月12日から6月30日の約2ヶ月半に渡ってキャンペーンを展開し、賛同した36団体が日本の各地で24のイベントを開催し、児童労働をなくすためにできるアクションを提示していきました。3年目となる「児童労働をなくそう!」署名では、10万人の目標に対し20万人を超える署名が集まりました。児童労働の最新統計となるグローバルレポート(国際労働機関:ILO)の発表や、オランダ・ハーグにおける児童労働の国際会議の開催等、児童労働にスポットの当たる年だった2010年のキャンペーンは、児童労働への関心の高まりを感じるものとなりました。

●メインイベント

映画上映会&シンポジウム「児童労働の今、そして未来」

2010年6月12日(土)

時間:13時00分~17時45分

場所:文京学院大学 仁愛ホール(東京都文京区)

共催:NGO労働組合国際協働フォーラム、
ILO(国際労働機関)駐日事務所、
児童労働ネットワーク

参加者数:428名

児童労働反対世界デーキャンペーンでは、例年映画上映会&シンポジウムのイベントをキャンペーンのメインイベントと位置付けて行っています。2010年は「児童労働の今、そして未来」のタイトルで、児童労働は今どんな状況にあるのかを知り、今後どうなっていくのか、私たちに何が出来るのかを考えました。



今年の上映映画は『チョコラ!』。ケニアのストリートチルドレンをテーマにした、ドキュメンタリー映画です。映画上映後は本作の監督である小林茂さんにご登壇頂き、司会を務めていただいたフリーアナウンサーの山元香里さんと共にトークセッションが行われました。小林監督のお話は大変力強いメッセージと共に、みなさんの胸に深く響いたことと思います。「もっと話を聞きたい!」という声が多数寄せられました。

(左)上映映画『チョコラ!』 (右)参加者に語りかける小林茂監督

続く児童労働の現状報告(ILO 駐日代表 長谷川真一氏)では今年5月に発表された統計の共有があり、シンポジウムの基調講演(拓殖大学国際学部教授 長坂寿久氏)では「公共」を一つのキーワードとして学問的視座からの解説をいただきました。シンポジウムのパネルディスカッションでは児童労働の解決に向けて NGO の現場、また研究の方面からなど深く携わられているみなさまにご登壇頂き、「児童労働撤廃への取り組みとアドボカシーの力」をテーマに熱い議論が交わされました。会場からもたくさんのご質問をいただき、児童労働をなくすために私たちに何かできるか、を様々な角度から検討しました。

会場のロビーでは NGO を中心とした16の団体ブースを出展し、児童労働をなくすためにどんな活動をしているのか、ご来場いただいたみなさんに直接ご紹介しました。休憩中はロビーがとてにぎやかで、あちこちで活発なコミュニケーションが持たれていました。また、小林茂監督はイベントの最後までブースにいらしてください、来場者からのサインや質問に応じてくださいました。

イベントの最後には、参加者のみなさんと「STOP CHILD LABOUR」のパネルと共に写真撮影を行いました(ページ右上)。こちらの写真は、児童労働に反対する日本の声として国内外に向けて発信していきます。当日会場まで足をお運びいただいた皆様、誠にありがとうございました。



(左)盛況だった NGO 活動紹介デスク



(右)参加者のみなさん。ILOの「児童労働にレッドカード」パネルと共に

●「児童労働をなくそう！10万人署名」20万人に届き、目標を大きく達成!

児童労働反対世界デーキャンペーンでは、キャンペーンの一環として2008年から「児童労働をなくそう！」署名活動を行っています。3年目となる2010年は「児童労働をなくそう！10万人署名」として10万人の目標を掲げ、日本政府に児童労働撤廃に向けた具体的な行動計画を策定することを求めていきました。

キャンペーン期間の2010年4月12日から6月30日に実施し、7月31日に締切を伸ばして約3ヶ月半に渡り署名活動を展開したところ、全国の個人・団体から「児童労働をなくそう！」の声が続々と届き、9月27日に20万人を突破しました。ご協力いただいたみなさま、児童労働をなくすための行動を起こしていただき、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

CL-Netは今後、この署名を外務省、文部科学省、厚生労働省へ提出し、要請事項の実現に向けて働きかけていきます。

※最終署名数は現在集計中です。最終数・提出のご報告はCL-Netウェブサイトをご覧ください。



全国から集まった署名用紙
ご協力ありがとうございました!

●これまでの実績

2008年 目標1万人→12,004筆
2009年 目標3万人→74,396筆

児童労働反対世界デーキャンペーン 2010 児童労働をなくそう！10万人署名 児童労働撤廃に向けた行動計画策定を!

外務大臣殿
文部科学大臣殿
厚生労働大臣殿

世界には2億人を超える子どもたちが、十分な教育を受けられないまま、児童労働を強いられています。アフリカでは約3人に1人の子どもが児童労働に従事しています。貧困が原因で働かざるをえない子どもがいるのは、日本も例外ではありません。

「最悪の形態の児童労働」(*1)をなくすことを、国際社会は2006年に約束しました(*2)。2010年5月10日、11日にオランダのハーグで開催される児童労働に関する国際会議では2016年までに「最悪の形態の児童労働」をなくすためのロードマップを作成することになっています。

国際条約の締約国として、日本もまた、「最悪の形態の児童労働」を根絶するために、具体的な措置を直ちに講じることが義務付けられています。

日本政府は直ちに、世界中から「最悪の形態の児童労働」を根絶するための、日本の行動計画を策定してください。それを実施する中で、必要となる資金について予算措置を講ずるとともに、国際協力を強化してください。

*1 「最悪の形態の児童労働」とは、ILO182号条約に定められている、撤廃に向けた即時の行動が求められる児童労働を指します。債務労働、人身売買、子どもポルノ・買春、子ども兵士、危険・有害労働等を指します。日本は2001年にこの条約を批准しました。

*2 2006年ILO総会決議

●2009年「児童労働をなくそう！3万人署名」提出報告

●外務省、厚生労働省、文部科学省に署名を提出しました

2009年のキャンペーンで集まった74,396名の署名を、2009年10月、11月に福山外務副大臣、細川厚生労働副大臣、川端文部科学大臣に直接提出し、要請を行いました。各提出の際には、CL-Netと署名の主旨をご説明し、児童労働の撤廃に向けて日本政府が行動するよう要請を行いました。また、2010年5月に実施予定(当時)であったオランダ・ハーグにおける児童労働国際会議について共有し、日本政府としての積極的な参加を呼びかけました。外務省と厚生労働省への提出には、CL-Netの会員団体である(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの子どもメンバー(高校生)も出席し、副大臣に直接日本の子どもとして児童労働への思いを表明しました。

2009年署名の要請事項の1つである「定期的協議の場の設置」は、以下のような形で実現に向けて前進しています。

●外務省、厚生労働省の主催による「児童労働に関する意見交換会」が実施されました

2010年7月1日、外務省と厚生労働省の主催で「児童労働に関する意見交換会」が外務省内にて開催されました。外務省、厚生労働省、文部科学省、国際協力機構、世界銀行東京事務所、ユニセフ駐日事務所、ILO駐日事務所、連合、CL-Netから計27名が出席し、CL-Netからオランダ・ハーグでの児童労働国際会議について報告した他、各組織から児童労働への取り組みに関して意見が交わされました。CL-Netでは、定期的協議の場の設置に向けて今後も情報発信と要請を続けていきます。

(右上)川端文部科学大臣と
(左下)福山外務副大臣と
(右下)細川厚生労働副大臣と



●キャンペーンイベントレポート

今年のキャンペーンは、福岡、大阪、兵庫、愛知、千葉、東京の各地で**24**のイベントが行われ、**9,515名**が参加しました。

フィリピンの子どもの未来のために ～児童買春の現状とその取り組み～

東京／(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、グローバル・ヴァイレッジ／4月6日(火)

フィリピンで子どもを守る活動を1974年から続けるブレダ基金。今回のセミナーでは、ブレダ基金の創設者の一人であるシェイ・カレン神父が、フィリピンでの買春被害の現状と児童ポルノ禁止法について報告しました。また児童買春から子どもを解放するなど、子どもを守るブレダ基金の活動とその資金源となっているフェアトレードについて映像や画像を紹介しながら話してもらいました。

ACE 活動説明会

東京／(特活)ACE／4月14日(水)～6月23日(水)

児童労働の撤廃と予防に取り組むACEの活動を紹介する「活動説明会」を、4月から6月の第2・第4水曜日にACEの事務所で行いました。キャンペーン期間中に6回開催し、合計24名の方にご参加いただきました。ACEの活動説明の後、「ACEのことをもっと知りたい」「どんな支援の仕方があるの？」など参加者のみなさんの疑問にACEスタッフがお答えしていき、児童労働やACEの活動について直接お話をできる貴重な機会となりました。

フェアトレード・サイクリング

東京／フェアトレード・サイクリング実行委員会／

4月17日～5月8日

都内のフェアトレードショップやイベントを回る自転車ラリー。22日間、アースデーや世界フェアトレード・デーのイベントも含めて参加者が思い思いにフェアトレードのショップなどを回りました。また4月29日には「ワールド・フェアトレード」を開催し、参加者全員で都内のサイクリングを楽しみお店を回って楽しみ、ショップとフェアトレード支持者をつなげるよい機会となりました。



ACE チョコファシリテーター育成連続講座 第一回「ワークショップ体験」

東京／(特活)ACE／4月24日(土)

ACEが開発したオリジナル教材「おいしいチョコレートの真実」のワークショップを開催しました。この教材の使い方やカカオ産業における児童労働の基礎知識を学び、グループに分かれて実践練習を行い、教材を使ったワークショップを実施できるようになることを目指した「チョコファシリテーター育成連続講座」の第一回目として実施し、7名が講座を修了しました。

国境なき子どもたち写真展 2010 「『明日を忘れないために』～僕らをつなぐフィリピンの歌声～」

東京／(特活)国境なき子どもたち／
4月29日(木・祝)
～5月12日(水)



国境なき子どもたち(KnK)の活動地フィリピン・マニラにフォトジャーナリストの安田菜津紀さんを3週間派遣し、取材・撮影してもらいました。新宿御苑近くのアイデムフォトギャラリー「シリウス」で写真展を開催し、安田さんの撮影した約30点の作品を展示しました。9日間で約800名の方がご来場くださり、フィリピンの子どもの置かれている現状にさらなる関心を寄せていただく機会となりました。

Just As Youth (JAY ジェイ) ～子どもらしく～

東京／(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン／5月5日(水)

高校生・大学生パフォーマーによるライブ・イベント+FTCJによる講演等を実施しました。貧困のために働かざるを得ない子どもの存在を音楽や紙芝居、漫才、スピーチ等のライブパフォーマンスを通して知り、過酷な状況から子どもを解放し、よりよい世界をつくるには何が出来るのかを考えるきっかけを提供することができました。



Café ACE

～コットンがつくる、地球と子どもにやさしい未来へ～

東京／(特活)ACE／5月7日(金)

東京銀座にある自然派インド料理屋で、インドのコットン生産地域での児童労働をテーマにイベントを開催し、ACEの団体・活動紹介、コットン生産地域で働く子どもたちの様子やプロジェクトの紹介を行いました。

参加者は、学生から社会人まで男女合計18名、児童労働、インド、コットン、NGOなどに関心を持っている方々でした。有機野菜を使った美味しいをいただきながら、静かな店内の中、皆様と近い距離でお話をさせて頂くことができました。



世界フェアトレード・デー2010

東京／グローバル・ヴァイレッジ／5月8日(土)

東京・丸ビルにて、今年で12回目となる「世界フェアトレード・デー 2010」イベントを開催し、約800人が参加しました。今年のテーマは「Fair Trade - Made in Diversity フェアトレードがつくる多様な世界」。来日した生産者団体によるプロジェクトの紹介や、フェアトレードがどのように生産者の自立を支えているかの報告、毎年好評のファッションショーを実施しました。ホール前のロビーにはフェアトレード団体によるマーケットやカフェ等も並び、フェアトレードの情報を熱心に集めるお客様で賑わいました。



フェアトレードフィルムフェスティバル

東京／フェアトレードフィルムフェスティバル実行委員会／
5月11日(火)～15日(土)

買い物をする国際協力「フェアトレード」を日本でも広げるために、フェアトレード月間(5月)に合わせて先進国の消費と途上国の労働や生産に関わるフェアトレードにまつわる映画祭を開催しました。フェアトレードをより深く知るためにぜひ観ておきたい映画6本を厳選し、フェアトレード団体製作によるDVDの上映や日替わりのフェアトレードトークショーも開催。ほぼ毎日満員御礼となり、世界のアンフェアとフェアトレードについて知る5日間になりました。



プラン・おとなスクール

～子どもたちが見た、児童労働の現実～

東京／(財)日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)／
5月12日(水)～6月26日(土)の計6回

毎月3回行っている「プラン・おとなスクール」を5月、6月は児童労働特別編「子どもたちが見た、児童労働の現実」として実施しました。写真クイズで児童労働者として働く子どもたちを紹介し、児童労働の定義・要因を説明した後、短編映像「悲しみの種」(インド)、「女の子の人身売買」(ネパール)を上映しました。その後児童労働に対するプランの取り組みを説明し、児童労働ネットワークの取り組み、イベントや署名への参加を促しました。参加者は多岐に渡りましたが、通常のおとなスクールより大変多くの参加があり、児童労働への関心が伺えました。



児童労働撲滅キャンペーン in 兵庫

兵庫／NTT労働組合／5月15日(土)

神戸ハーバーランドスペースシアターで開催し、組合員・退職者の会会員やその家族、一般参加者など約3700人が来場しました。イベントは地元サンパチーム「フェジヨン・ブレット」のサンパで華やかにスタートし、各団体による児童労働パネル展示やチャリティーバザー、フェアトレード商品の販売、クイズラリーのほか、著名人による特別講演など家族で楽しめる多彩な企画で、児童労働問題と撲滅に向けた取り組みを多くの人に訴えました。



MINESHAの「できそう」なことから「できる」社会貢献

～映画「アリ地獄のような街」上映会～

東京／MINESHA／5月22日(土)～5月23日(日)

MINESHAが目指す『自分にできる社会貢献』について、多くの人に考えてもらい、社会貢献に参加するきっかけを作ることを目的に上映会を開催しました。バングラデシュの首都ダッカの闇を描いた映画を「見て」「知って」「感じて」いただいた他、会場にてバングラデシュの現状を伝える写真展示、ゲストによる「私にとっての持続

可能な社会貢献」の講演を行いました。

「ソルト・パヤタス活動説明会」ごみ山で働く子どもたちへの奨学金支援の歩み、成果と課題

福岡／5月27日(木)／(特活)ソルト・パヤタス

ビデオ「パヤタスの子どもたちの夢」を上映し、フィリピン・マニラ首都圏郊外のパヤタス地区に居住し、ゴミ投棄場で再利用可能なゴミを拾って生計を立てる「スカベンジャー」と呼ばれる人々の子どもたちについて紹介しました。その後、この地域で暮らす子どもたちの生活や労働条件の現状、ソルト・パヤタスの方針や活動、2009年に実施した活動評価の成果と課題、今後の活動計画を説明しました。参加者に現地の状況を伝え、問題意識を持ってもらえたことで、有意義な行事となりました。

写真展～働く子どもたちのはなし～

東京／(特活)グッドネーバーズ・ジャパン／

6月1日(火)～6月14日(月)

代官山のカフェにて2週間、世界の働く子ども達の写真と、彼らの仕事や状況を説明する文章をセットで展示しました。お店のお客様の中にはお友達と、テーブルの横にある写真や、その国を話題にされる方もいらっしゃいました。また、お店には児童労働反対の缶バッジや、グッドネーバーズのグッズなどの販売にもご協力頂きました。この売上は、グッドネーバーズがアジア・アフリカで実施する子どもの環境改善のための事業に使わせて頂きます。



シンポジウム「私の命まで採掘しないで」

東京／(社)アムネスティ・インターナショナル日本／

6月4日(金)

鉱物資源の最上流で起こっている環境破壊、先住民族の強制立ち退き、児童労働などの人権問題を概観し、資源消費国としての日本はこれをどう捉えて対応するべきかを考察しました。2人のゲストによる講演「映画 AVATAR の現実味—資源開発に伴う諸問題」、「アフリカ鉱物資源経済・ダイヤモンドと国際市場」から、知られていない問題を掘り起こすイベントとなりました。

海外スタッフと語ろう!! フィリピンの今、ネパールの明日

東京／(特活)チャイルド・ファンド・ジャパン／6月5日(土)

東京・広尾のJICA地球ひろばでイベントを開催し、60名を越える方々に来場いただきました。フィリピンとネパールの各事務所長が、子どもたちがおかれている厳しい生活状況をお話した後、スポンサーの方から手紙のやりとりを通してチャイルドたちの育ってゆく過程に寄り添う喜びなどスポンサーとしての思いをお話いただきました。中高生や大学生も参加され、支援するとはどういうことかをテーマに活発な意見交換がありました。支援者の方の温かいお気持ちが伝わってきたと同時に、「学校に行きたい」と願う子どもたちの切実な思いと、「支援に心から感謝している」という現地からの生の声が、会場内に届けられた報告会でした。



めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2010

大阪／(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、(特活)国際子ども権利センター(シーライツ)／6月6日(日)

御堂筋ウォークは今年で5年目となり、40人が参加してくれました。西天満若松浜公園で集合し、その後2時頃から4時頃まで御堂筋を南下し、参加者で歩きました。「ストップストップ児童労働、子どもたちには教育を！」とみんなで叫び、高校生がメインで拡声器にてリードしてくれました。どんな人でも問題に対してアクションを起こせると参加者は感じたと思います。これをきっかけにどんどん児童労働だけではなく世の中の問題に目を向けて自らアクションを起こしていく人が増えるよう、今後も働きかけていきたいと思っています。



チャリティー・バザール

千葉／(特活)日本ファイバーリサイクル連帯協議会(JFSA)／6月6日(日)

NGO 出店、一般の方参加によるフリーマーケット、食べ物販売、餅つき、チャリティーコンサート、スピーチなどを行いました。JFSAが支援しているパキスタン、カラチ市のアルカイル・アカデミーのムザヒル校長と卒業生のムハマッド・アリ氏をゲストに迎え、パキスタンでの児童労働の実態と、アルカイル・アカデミーの活動について、プリマ会場となった公園内でスピーチしていただきました。このような地域に開かれたイベントのテーマを児童労働反対世界デーとしたことにより、普段は児童労働、貧困問題、NGO 活動などにあまり接点を持つことのない方々にも児童労働問題についてアピールすることができたと思います。



STOP！児童労働アクション～キャンドルオフィス

大阪／(社)アムネスティ・インターナショナル日本／6月11日(金)～6月12日(土)

アムネスティの基本的な活動である手紙書きを行なうことで、より身近に児童労働という問題を感じてもらいました。児童労働に反対する政府宛の手紙(綿、カカオ、子ども兵士)を各自で書き、日没後はキャンドルオフィスとしました。前年のような大人数での参加はなかったのですが、1人、2人と参加者が来られて手紙を書いてくださり、土曜日の夜はメディアの取材も入りました。



児童労働勉強会

名古屋／(特活)アジア日本相互交流センター・ICAN／6月12日(土)

世界とフィリピンの子どもの置かれている状況について



てみんなで学ぶ機会を設け、学生・社会人を中心に計10名が参加しました。世界の児童労働の現状、子どもの権利について参加者同士で共有したワークショップは、参加者間の経験共有の場、またいかに児童労働が子どもの持つ権利を脅かしているかを再認識する場となりました。その後、フィリピンでの児童労働の現状とアイキャンの活動を紹介し、最後にこれから自分には何ができるか、自分の「ICAN」を考え発表をしてもらい、日本においてもフィリピンにおいても、すべての子どもたちが「夢を持てる社会」「夢をかなえられる社会」をともに作る一歩として、自分の「ICAN」を実行してほしいと伝えました。

めっちゃ学校行かせたい!知らせたい!渋谷ウォーク 2010

東京／(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン／6月13日(水)

児童労働とは何かを知るために演劇やクイズ、スピーチを通じて集会を開いた後、児童労働を伝えるためのウォークを渋谷や原宿、代々木を歩きながら実施しました。演劇では、小学生や中学生が中心になって児童労働に従事する子どもになりきって現状を伝えるストーリーを発表し、高校生がスピーチを発表し「同世代として、児童労働のことを無視はできません。わたしたちの暮らしとつながって考えていきましょう」とメッセージを発信しました。ウォークは「ストップ、ストップ、児童労働!子ども達には教育を」と小学生メンバーを中心にみんなで呼びかけ、1時間半楽しみながらウォークができました。



ストップ!児童労働、児童虐待 in 福岡

福岡／(特活)ソルト・パヤタス／6月17日(木)

児童労働の概要と事例紹介を行なった後、タイでの児童の臓器売買と売春の実態を描いた映画「闇の子どもたち」を上映しました。2時間以上の映画の最初の1時間程度を全員で鑑賞した後、個別に感想を述べてディスカッションを行いました。参加者はタイでの現状に様にショックを受けると同時に、これを見たことで社会の現状に対する疑問を抱き、その中で自分たちに何ができるのか、また自分たちが何をしなければならないのかについて活発に意見が出されました。参加者からは、この問題に当事者として関わっていくべきであるという意識がもてた、などの感想が寄せられ、参加者に対する問題提起と意識付けをすることが出来ました。

児童労働セミナー ILOの最新レポートを読み解く

東京／(特活)ACE／6月30日(水)

2010年5月にILOから児童労働の最新統計が発表されたことを受け、最新情報を参加者に共有するセミナーを開催しました。ACEから児童労働の基礎情報、児童労働者の数や傾向の変化を解説し、ACEとしての提言を発表しました。その後、ゲストの堀内光子氏(CI-Net代表・文京学院大学特別招聘教授)から、ACEからの提言へのコメント、2010年5月にオランダ・ハーグで開催された児童労働の国際会議の報告をいただきました。高校生から社会人まで29名のみなさまにご参加いただき、児童労働に関する最新国際動向の理解を深めることが出来ました。



●児童労働反対世界デーキャンペーン 2010 賛同イベント一覧

開催日	イベント名	主催	開催地	参加者
4月6日(火)	フィリピンの子どもの未来のために ～児童買春の現状とその取り組み～	(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン グローバル・ヴィレッジ	東京都渋谷区	85
4月14日(水) - 6月23日(水)	ACE 活動説明会	(特活)ACE	東京都台東区	24
4月17日(土) - 5月8日(土)	フェアトレード・サイクリング	フェアトレード・サイクリング実行委員会	東京都心部	300
4月24日(土)	ACE チョコファシリテーター育成連続講座 第一回『ワークショップ体験』	(特活)ACE	東京都渋谷区	25
4月29日(木・祝) - 5月12日(水)	国境なき子どもたち写真展2010 『明日を忘れないために』～僕らをつなぐ フィリピンの歌声～	(特活)国境なき子どもたち (KnK)	東京都新宿区	800
5月5日(水)	Just As Youth (JAYジェイ) ～子どもらしく～	(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都新宿区	108
5月7日(金)	Cafe ACE ～コットンがつくる、地球と子どもにやさしい未来へ～	(特活)ACE	東京都中央区	17
5月8日(土)	世界フェアトレード・デー2010	グローバル・ヴィレッジ/ビーブル・ツリー	東京都千代田区	800
5月11日(火) -5月15日(土)	フェアトレード フィルム フェスティバル	フェアトレード フィルム フェスティバル実行委員会	東京都渋谷区	800
5月12日(水) -6月26日(土)	プラン・おとなスクール ～子どもたちが見た、児童労働の現実～	(財)日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)	東京都世田谷区	88
5月15日(土)	2010 児童労働撲滅キャンペーン in 兵庫	NTT労働組合	兵庫県神戸市	3700
5月22日(土) - 5月23日(日)	MINESHAの「できそう」なことから「できる」 社会貢献～映画「アリ地獄のような街」上映会～	MINESHA(ミネーシャ)	東京都渋谷区	400
5月27日(木)	ソルト・バヤタス活動説明会 ごみ山で働く 子どもたちへの奨学金支援の歩み、成果と課題	(特活)ソルト・バヤタス	福岡県福岡市	8
6月1日(火) -6月14日(月)	写真展～働く子どもたちのはなし～	(特活)グッドネーパーズ・ジャパン	東京都渋谷区	1142
6月4日(金)	シンポジウム「私の命まで採掘しないで」	(社)アムネスティ・インターナショナル日本	東京都港区	85
6月5日(土)	海外スタッフと語ろう!! フィリピンの今、ネパールの明日	(特活)チャイルド・ファンド・ジャパン	東京都渋谷区	60
6月6日(日)	めっちゃ学校行きたいねん! 御堂筋ウォーク2010	(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	大阪府大阪市	40
6月6日(日)	チャリティー・バザール	(特活)日本ファイバーリサイクル連帯協議会(JFSA)	千葉県千葉市	500
6月11日(金) - 6月12日(土)	STOP!児童労働アクション～キャンドルオフ イス	(社)アムネスティ・インターナショナル日本	大阪府大阪市	10
6月12日(土)	児童労働勉強会	(特活)アジア日本相互交流センター I CAN	愛知県名古屋	10
6月12日(土)	映画上映会&シンポジウム「児童労働の 今、そして未来」	NGO-労働組合国際協働フォーラム 国際労働機関(ILO)駐日事務所 児童労働ネットワーク	東京都文京区	428
6月13日(日)	めっちゃ学校行かせたい!知らせたい! 渋谷ウォーク2010	(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都渋谷区	45
6月17日(木)	ストップ!児童労働、児童虐待 in 福岡	(特活)ソルト・バヤタス	福岡県福岡市	11
6月30日(水)	児童労働セミナー ILOの最新レポートを 読み解く	(特活)ACE	東京都渋谷区	29
【イベント参加合計人数】				9,515

キャンペーン 2010 実績一覧

(2009年実績)

●イベント数

24件 (18件)

●イベント参加者数

9,515人

(10,297人)

●メディア掲載数

49件 (15件)

●ウェブサイト訪問者数

5,385人

(4,346人)

●アクション提示数

16件 (-)

●署名数

20万7筆

※2010年9月27日時点
(74,396筆)

●賛同団体数

36団体 (33団体)

- ・CL-Net 会員団体 20
- ・キャンペーン賛同団体 16

●メディア掲載(一部)

- 【新聞】朝日新聞/東京新聞
/毎日新聞/読売新聞/
大阪日日新聞
- 【テレビ】NHK 盛岡
- 【ラジオ】J-WAVE Good
Morning Tokyo、ロハスサン
デー/FM FUJI/FM 立川
- 【ウェブ】VOGUE.com/
asahi.com/ThinkProject
- 【雑誌】アイユ/Japan Times

●児童労働反対世界デーキャンペーン 2010 決算

【収入】				単位(円)
大科目	項目	2010年予算	2010年決算	内訳等
キャンペーン運営費	賛同団体	75,000	75,000	5,000円×15口(15団体)
	賛同個人	0	6,000	2,000円×3口(3個人)
	賛同企業	50,000	20,000	1万円×2口(1企業)
	NGO-労働組合国際協働フォーラムより	150,000	150,000	広報物作成費として
	CL-Net予算より	96,605	46,489	
	寄付	0	21,778	
	収入合計(A)		371,605	319,267
【支出】				
大科目	項目	2010年予算	2010年決算	内訳等
広報費(印刷物)	ポスター	19,900	20,370	A2、片面(フルカラー)×200枚、6/12イベント広報を兼ねる
	ちらし	75,720	83,855	A3、両面フルカラー×15000枚、6/12イベント広報を兼ねる(84640円、ポイント785円分使用)
	写真使用料	0	20,000	メインイベント写真(写真家渋谷氏)映画『チョコラ!』写真は東風より無償提供
	ちらしデザイン料	50,000	50,000	ちらし、ポスターデザイン代として
広報費(ウェブサイト)	ウェブデザイン料	10,000	10,000	ウェブサイト用バナーデザイン代として
	ウェブサイト作業費	50,000	50,000	ウェブサイト更新・管理作業代として
	ドメイン管理料	2,990	2,990	
署名関連費用	署名カード作成費	1,000	1,932	署名用紙内部印刷(1500枚)
	署名TV利用費	5,250	5,250	署名プロジェクト作成費として
送料		26,745	25,310	ちらし、ポスター発送料等
消耗品		15,000	2,867	紙代(5000枚)
印刷費		10,000	5,644	メインイベント配布物(1500枚)、キャンペーンチラシ増刷(2500枚)
交通費		5,000	0	
イベント支援費		50,000	40,000	1万円×4団体
予備費		50,000	1,049	銀行手数料等
支出合計(B)		371,605	319,267	
収支合計(A-B)		0	0	

●キャンペーン 2010 を振り返って <成果と課題>

児童労働反対世界デーキャンペーンを開始して5年目となる今年は、オランダ・ハーグにおける児童労働の国際会議の開催や、ILOによる児童労働の最新統計「グローバルレポート」の発表があるなど、児童労働にこれまで以上に注目が集まる年でした。例年より開始を早め、4月12日から6月30日の約2ヶ月半実施したキャンペーンで、多くの方に児童労働を知らせることが出来ました。

6ページでご紹介したように、イベント参加者数は小規模のイベントが増えたために昨年より減少していますが、開催イベント数、メディア掲載、ウェブサイト訪問者数、署名数、賛同団体数は昨年より増加し、キャンペーンの目的A「児童労働のない社会を目指して、一般市民に対して知らせ、行動する人、市民社会組織を増やす」は一定程度達成することができました。特に署名活動は20万人を超えるという飛躍的な伸びがあり、ご協力いただいた個人、団体のみなさまの「児童労働をなくそう！」という想いの高まりが強く感じられました。重ねて御礼申し上げます。届けていただいた署名は各省庁へ提出し、要請を行ってまいります。

その一方で、目的B「日本政府が児童労働問題への国際協力を強化する」に関しては、短期的に成果の得られる目標ではないことから具体的成果は得られていません。しかし、2009年の署名活動の要請事項が「児童労働に関する意見交換会」の開催という形で実現に向けて前進しています。今後もCL-Netでは政策提言を強化し、児童労働のない社会を日本政府が積極的に目指すよう働きかけていきます。

児童労働反対世界デーキャンペーン 2010 にご参加・ご協力をいただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。児童労働のない社会の実現を目指して、今後ともみなさまと共に歩みを進めていきたいと考えております。

●児童労働反対世界デーキャンペーン 2010 の目的、目標、目標達成度

達成度	目的: 児童労働のない社会を目指して	達成度	中位目標:
◎	A: 一般市民に対して知らせ、行動する人、市民社会組織を増やす。	◎	A-1) 児童労働反対の意思表示や行動が社会の中に広がる。
		◎	A-2) キャンペーンに賛同するか、児童労働ネットワークに加入する団体、組織が増える。
		◎	A-3) メディアに取り上げられる。
△	B: 日本政府が児童労働問題への国際協力を強化する	△	B-1) 児童労働のプロジェクトに関するODA予算が増加する。
		△	B-2) 政府の認識が高まり、ODA政策の中に児童労働が位置づけられる。

児童労働ネットワーク会員団体 (20)

(特活) アジア日本相互交流センター (ICAN)
 (社) アムネスティ・インターナショナル日本
 (特活) ACE
 (特活) エファジャパン
 (特活) かものはしプロジェクト
 (特活) グッドネーパーズ・ジャパン
 グローバル・ヴィレッジ
 (特活) 国際子ども権利センター
 国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)
 (財) 国際労働財団 (JILAF)
 (社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
 (特活) ソルト・パヤタス

(特活) テラ・ルネッサンス
 (特活) 日本オーガニックコットン流通機構
 日本労働組合総連合会
 働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン (OLAL)
 フード連合
 フェアトレード・リソースセンター
 (特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
 UIゼンセン同盟

キャンペーン賛同団体 (16)

アジアの女性と子どもネットワーク
 (特活) アフリカ日本協議会 (AJF)
 エイズ孤児支援 NGO・PLAS

NTT 労働組合
 教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)
 (特活) 国境なき子どもたち (KnK)
 合同出版 (株)
 情報労連 (情報産業労働組合連合会)
 世界子ども通信「プラッサ」
 (特活) チャイルド・フレンズ・ジャパン
 (特活) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会 (JFSA)
 (財) 日本フォスター・プラン協会 (プラン・ジャパン)
 (特活) ハンガー・フリー・ワールド
 (特活) ヒューマンライツ・ナウ
 MINESHA (ミネーシャ)
 (特活) ワールド・ビジョン・ジャパン

児童労働ネットワーク (CL-Net) は、会員を募集中です！！

会員になると、会員のメーリングリストや学習会、運営会 (オブザーバー参加) に参加することができます。

会員になるには？

- 郵便振替口座：00160-8-685281
 口座名義：児童労働ネットワーク
- 銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 上野支店
 普通口座 5413699
 口座名義：児童労働ネットワーク

○会員の種別と会費 (会費期限は毎年10月～翌9月)

正会員 (総会での議決権あり)	団体	一口10,000円 (一口以上)
	個人	一口5,000円 (一口以上)
協力会員 (総会での議決権なし)	個人	一口1,000円 (一口以上)

※振替用紙の通信欄には、必ず会員の種別と口数をご記入ください。
 ※お振込みをいただいた際は、事務局までご連絡ください。

■この短信は児童労働ネットワークのイベントにご参加いただいたみなさま、またネットワークの会員団体とつながりのある皆様にお送りしています。
 送付先の変更や送付不要の場合は、事務局までご連絡ください。

児童労働ネットワーク (CL-Net) 事務局

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-6-4 あつきビル 3階 (特活) ACE 内

TEL: 03-3835-7555 FAX: 03-3835-7601 E-mail: info@cl-net.org URL: http://cl-net.org/

